

## 熱中症にご注意を

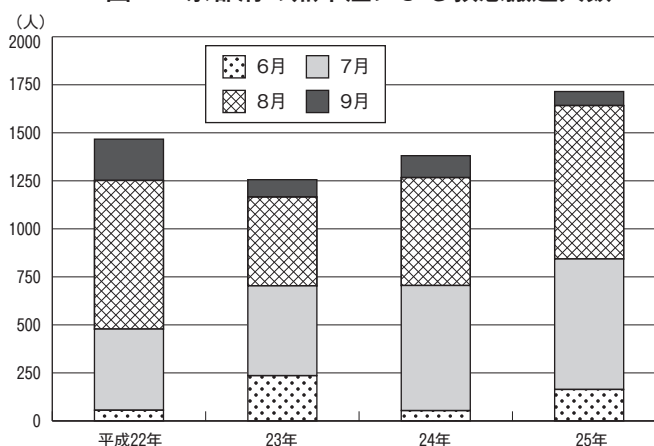
今年も暑い夏がやってきました。夏には熱中症で救急搬送される方が増えています。今回は夏の熱中症による救急搬送状況についてみてみたいと思います。

総務省消防庁では、6月から9月の間に熱中症による救急搬送の状況を取りまとめ公表しています。

図1では、平成22年から25年までの4年間の京都府の熱中症による救急搬送人数が示されています。昨年は7月と8月で多くの救急搬送があり、4年間の調査のうちもっとも多くの方を搬送しました。

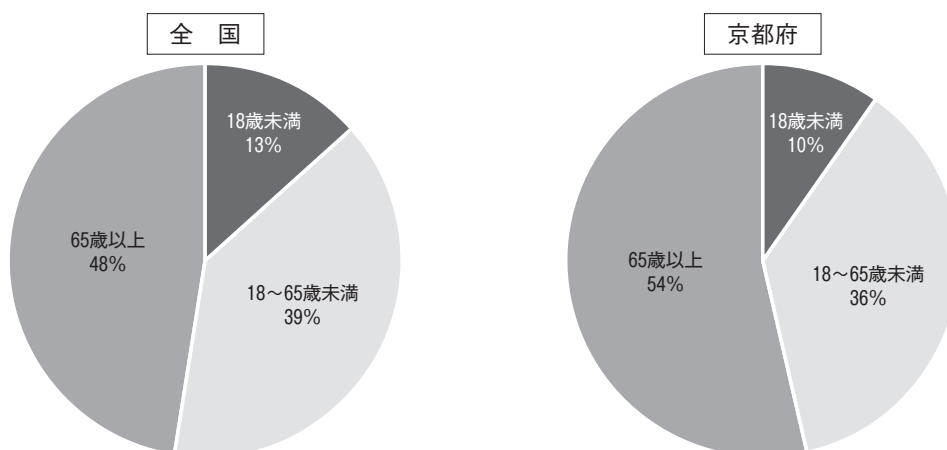
では、救急搬送された方の年齢はどのようになっているのでしょうか。図2は、全国と京都府の救急搬送された方の年齢別の割合を円グラフで表したものです。65歳以上の方が搬送された割合は全国では48%ですが、京都府では54%と過半数になっており、高齢者の方が熱中症で救急搬送される割合が全国に比べて高くなっています。

図1 京都府の熱中症による救急搬送人数



出典：総務省消防庁HP

図2 年齢別救急搬送割合(平成25年)



出典：総務省消防庁HP

近年では節電が推進されており、エアコンなどの使用を控える方もおられるとは思いますが、無理をせず、上手にエアコンや扇風機を活用し、栄養バランスのよい食事と体力づくりにより、暑い夏を元気に乗り越えましょう。